

別記様式（第4条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	令和元年度社会教育委員会（第2回）	
開 催 日 時	令和2年1月20日（月）15：30～16：45	
開 催 場 所	宍粟市役所 5階501会議室	
議長（委員長・会長） 氏 名	委員長：中村美代子	
委 員 氏 名	（出席者） 中村美代子、宮脇昭介、田中美由紀、船積攝子、 山木康子、福田洋平、志水修、内海正文、 前野良造、清水兼男、岡西清治	（欠席者） 尾前禎一 森脇圭吾 久保欽哉
事 務 局 氏 名	西岡教育長、田路次長 （社会教育文化財課）柴原課長、岩井、清水、水口、菊元、 下多、宮辻	
傍 聴 人 数	なし	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の 理 由	<input checked="" type="radio"/> 公開・非公開	（非公開の理由）
決 定 事 項	（議題及び決定事項）	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	会議次第、生活圏の拠点づくり、読書活動推進計画 ほか	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
事務局	■報告及び協議事項 (1) 令和2年4月1日の組織改編に向けた方向性について (2) 宍粟市北部地域における生活圏の拠点づくりについて説明
委員	一宮市民協働センターができてセンターいちのみやの機能が移るということだが、センターいちのみやには文化協会の昔の資料などが残っていて、その資料の整理が大変だと聞いている。古い資料は整理も大変だが、下手をするとなくなってしまう可能性もある。今の時代なので、そういう資料は電子化して、いつまでも残しておくことはできないか。昔の資料がなくなったということはよく聞く話なので、そういうことがないようにしてほしい。
事務局	古い映像やフィルムなどは一宮の文化協会が中心になってDVD化をしている。
委員	資料もあると聞いている。大変な作業だが、できれば文書なども残して活用できればと思う。将来的にも必要な機能だと思うので、保管＝電子化ということを考えてほしい。
事務局	これから一宮も資料の仕分けをしていくが、資料にもさまざまな種類のものがあるので適切な管理と保管をしていきたいと思っている。
委員	波賀文化創造センターの図書室が移転することは利便性からいいことだと思うが、その後は施設は撤去されるのか。文化創造センターには回り舞台がある。今も波賀城観月会を開催しており、ロケーションも素晴らしい。何とか回り舞台の保存はできないかと思っている。
事務局	図書室は別にして考えてほしい。今、公共施設を管理する計画を作っているが、図書室がなくなって、センターもいきなり撤去ということにはならない。市民局を中心に他の利活用があるようであれば、検討してからということになる。いろいろな活用がされている施設ではあるが、利活用がない場合、最終的には撤去になることもあるという意味で書かせてもらっている。
委員	回り舞台があることも知らない人が多くなっている。なんとかあるものは残していただきたいと思っている。
事務局	■補助執行について補足説明。
委員	補助執行という制度が進んでいくという説明があったが、その場合特に北部は現在よりも職員や体制が貧弱になるという恐れはないか。今でも宍粟市の職員は圧倒的に南部にいる。住民から見ると、さらに寂しくなるのではないかと感じた。

事務局	<p>社会教育の分野でいうと、図書館司書や社会教育専門員など、専門的に業務にあたる職員が必要である。兼務などで集約されがちな事務もあるが、そうならない専門的な業務を受け持っている部署でもあり、最初の一宮においては現在の人数・体制で移行できるように要望している。3年後の波賀が落ち着く頃にどうなるかということは約束できないが、体制の維持には努めていきたいと考えている。</p>
委員	<p>今後の宍粟市の組織がどうなるかはわからないところだが、勤務する職員が少ないところの住民からすると、少なくとも今の体制から減らさないように維持してほしいという思いがある。</p>
事務局	<p>施設管理というような部分では、施設の集約や新しく建設することで、人を減らすメリットも生まれるとは思うが、日常の業務においては、必要な人員は確保していくべきだと考えている。</p>
事務局	<p>■報告及び協議事項 (3) 宍粟市読書活動推進計画の改訂について説明</p>
委員	<p>計画とは関係ないかもだが、学校の図書室で本を読むのと、図書館で本を読むのとは、子どもにとっては雰囲気が違うと思う。私は図書館の雰囲気はいいと思うが、現在の一宮は部屋があって、本があってという、いかにも「図書室」という感じで、残念に思っている。今度の市民協働センターは、山崎の図書館のようになるのか、今のままの図書室のようなのか、どのような施設になる予定か。一宮の子どもたちも、山崎まで行かなくても、図書館の雰囲気を味わえたらと思う。移動図書館だけでは寂しい感じがする。</p>
事務局	<p>市立図書館のようになる予定である。今度の図書室は国道側の窓際の明るいところに学習スペースも整備されることになっている。交通の便もよいし、今の図書室よりは利用しやすくなると思う。</p>
委員	<p>私も一宮の図書室に行ったことがあるが、山崎の図書館の方が環境がいいと感じた。そのような希望を今後の施設整備に組み込んでいただきたい。山崎も夏休みの学習などの利用も広がってきている。学生がそこで勉強する雰囲気にもなってきているように思う。山崎のいいところは取り入れてもらいたいと思う。</p>
事務局	<p>イメージを見ている限りでは、今よりも明るく全然よい施設になる予定である。ちくさの図書館行かれた方があれば、それに近いイメージを思ってもらえればよいと思う。学習スペースも10人近く利用でき、勉強してもらえ。机や調度品も事務的ではないものになる予定である。</p>
委員	<p>波賀の図書室も夏は風が通って涼しくて、素晴らしい風景も見えてよいが、下</p>

	<p>に降りたら、場所的にはよくなるがロケーション的には残念になってしまう。 いい雰囲気の間書室にしてほしい。</p>
事務局	<p>波賀は市民局も木造なので、整備の方向としては木を用いて調和のとれた形になるのではないかと思う。</p>
委員	<p>直接推進計画に関係するかはわからないが、全国的に手に入る本や資料だけではなくて、宍粟の地域で収集保存しておかないと、2度と手に入らない資料もあると思う。読書の計画を進めながら、資料も集めるような取組もやっていただきたいと思う。先日知り合いのところを訪れたら、その人が参加されている短歌会の冊子がたくさんあった。しかし、千種の間書室にも、山崎の間書館にもそのようなものは保存されていなかった。寄贈しようという積極的な人は自分で持って行かれるが、そうでない人は寄贈という発想にもならず、家に置いているそうだ。会も解散してしまえば、資料などが散り散りになってしまうので、間書館だよりで資料寄贈の呼びかけをするなどして、集めていかなければならないのではと思う。価値のないものもあると思うが、中には宍粟でしか書けない、作れない本もあると思うので、計画とともにそういったことにも取り組んでいただきたい。</p>
事務局	<p>歴史的に重要なものや、昔を辿れるような資料は、将来に向けて収集が必要だと思う。</p>
委員	<p>今から取り組んでいかないと、将来仮に予算がついたとしても、原本がなくなってしまえばどうしようもない。</p>
事務局	<p>今聞かせていただいて、大変参考になった。郷土の資料というものは、最優先で集める必要があるので、寄贈の申し出があった際には司書が同行し資料をもれなくもらうようにはしているが、受動的な対応が多かった。先日も短歌の会が閉会になるので歌集を寄贈いただいたが、積極的に収集はしてこなかったので、今後は間書館だより等で呼びかけもして、貴重な本は残していきたいと思う。</p> <p>16 : 45 閉会</p>